

2010年(平成22年)1月20日(水曜日)

介護は家事力が不可欠



講演する早川浩士氏

若い介護従事者に訴える

滝川介護サービス「専門性の前に家庭力を」 連絡協が研修会

【滝川】滝川地域介護サービス事業者連絡協議会(神部洋史会長)が主催する研修会が16日、滝川市内のたきかわ文化センターで開催された。講師を務めた早川浩士氏は人財育成のコツを紹介し、「利用者の暮らしを支える介護の原点は家事力」と指摘。専門的な介護の知識のほか改めて家事を見つめ直す必要性を訴えた。

滝川地域介護サービス事業者連絡協議会は地域で介護福祉移設を運営している事業者が参加。利用者本位の公

平で公正なサービス提供の実現と質の向上を目指している。今回の講演会は施設サービス部会が企画した。

講師の早川氏は有限会社ハヤカワフランチ代表。経営コンサルタント「継栄と人財創造塾」を主宰し、介護や人材育成に関する著書を発表しているほか、認知症高齢者グループホームの開設動向も独自に調査している。

約50人の介護施設の事業者やスタッフが参加した研修会。早川氏は「毎月、皆勤した職員・利用者へ賞状を授与」、「失敗体験発表表を利用者参加型で実施」、「職員と家族の

どの人財育成に繋がる実践事例を紹介。「人を育てなければ、自分が育つ姿を見せること」などと語った。また早川氏はこれまで介護の現場を専業主婦が支えてきたことを指摘。「家で風呂掃除や洗濯、料理をしない人が訪問先で家事ができるのでしょうか」と介護者の世代交代をひ

かえ、若い世代の介護者の家事力に憂慮を示し、「これからは介護という専門性の前に家事力、家庭力を再認識する必要がある」と訴えた。【丸岡宣久】